

Men's & Women's

成年女子は、地元・福井県が初優勝。地元の声援を背にのびのびとプレーした。準優勝は広島県。優勝するチャンスがあつただけに残念な結果となつた。3位は、東京都、岡山県が入つた。

橋本帆乃香

鋭いスイングの重いカットと攻撃を織り交ぜ初優勝に貢献



芝田沙季

足を使ったパワフルな攻撃を展開し、大会を通じて活躍



山本笙子

回転量の多いドライブ攻撃をコーナーに打ち分けた



成年女子優勝
福井県

2018



準優勝▶広島県 左から松岡監督、成本、宋、庄司



成本綾海

変化のわかりにくいサービスから打点の早い攻撃を仕掛けた



田代早紀

安定した両ハンドドライブ攻撃で活躍した



平侑里香

ピッチの早い攻撃で相手に先手をとらせず、攻撃を仕掛けた



9

第73回 国民
9月29日~10月3日
敦賀市総合運動公園体育館

BEST8



左から金子監督、岩越、徳永、前田 福岡県



左から武内監督、切石、吉田、青木 兵庫県



左から松岡、西川、西山監督 熊本県



左から森田、永尾、小道野、西條監督 静岡県

平野友樹

ファイト溢れるプレーでチームをけん引。勢いを作った



吉村和弘

豪快な両ハンド攻撃は鋭い弾道で准決勝、決勝と大事な3番で勝利。チームに欠かせない存在



有延大夢

準決勝、決勝と大事な3番で勝利。チームに欠かせない存在



第73回国民体育大会卓球競技は、9月29日~10月3日まで、敦賀市総合運動公園体育館で行われた。

成年男子は山口県が、7年ぶりの優勝。準優勝は昨年度ベスト8であった東京都、3位は三重県、和歌山県。

成年男子優勝
山口県

左から
阿部監督、平野、吉村、有延

山口県が7年ぶりの優勝

BEST8



左から
三室監督、原井、田添響、田添健汰 福岡県



左から
五十嵐、出雲、山本、野村監督 石川県



左から
山口監督、鹿屋。右から石田、飯野 神奈川県



左から林監督、高橋、渡辺、矢野 大分県



藤村友也
準々決勝の福岡戦で2点あげるなど、大黒柱として活躍



8

Boy's & Girl's

野村萌

鋭い軌道を描く両ハンド攻撃と打球点の早さがひかった



浅井一恵

決勝戦のラストでは劣勢の展開になるが、最後まで攻め切り、決勝点をあげた



板花美和

ガツン溢れるプレーとミスの少ない安定したプレーがよかった



少年女子決勝は愛知県と石川県が対戦。試合はお互いに2本を取り、ラストも相馬(石川県)が2ゲーム先取するが、浅井(愛知県)が粘りを見せて逆転。愛知県が優勝した。ベスト4には、大阪府と福井県が入った。



左から野村、浅井、板花、大島、
神谷監督、大元愛知県卓球協会
理事長

少年女子優勝
愛知県

2018

Girl's 愛知県が劇的な優勝

準優勝 石川県 左から清水監督、千葉、出雲、相馬、津隈



出雲美空
相手に攻め手を読ませない
プレースタイルで得点をあげた

杉本陽南
ピンのかかった両ハンド
攻撃は威力十分。
石川県戦でも勝利した



青木千佳
バック面異質ラバーでの
攻撃と、力強いドライブ攻撃
が噛み合った



第73回 国民
9月29日～10月3日
敦賀市総合運動公園体育館

BEST8



田中佑汰

故障の影響もあってか、曾根翔
本調子のプレーではなかったが、
決勝はさすがの内容であった



加山裕

回転量の多いフォアハンドドライブ
攻撃で得点をあげた



少年男子は愛知県が優勝。
3連覇を達成した。準優勝
は高い攻撃力の山口県が
入った。3位は、質の高いブ
レーを見せた福岡県、全員
卓球をみせた京都府。

少年男子優勝
愛知県

左から
野木森監督、
田中、大元愛知県
卓球協会理事長、
加山、曾根

田中佑汰

故障の影響もあってか、曾根翔
本調子のプレーではなかったが、
決勝はさすがの内容であった

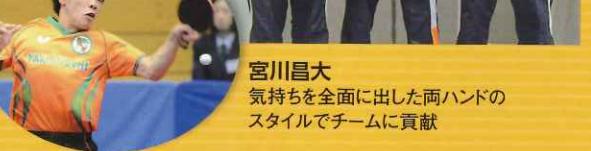


愛知県が3連覇 Boy's

準優勝 山口県 左から戸上、遠藤、宮川、松田、橋津監督



戸上隼輔
高難度の両ハンドの
スタイルで、群を抜いた
攻撃を展開



宮川昌大
気持ちを全面に出した両ハンドの
スタイルでチームに貢献



杉本和也
ボールタッチの良い
両ハンド攻撃をみせた



竹内佑・1本1本気持ちの
入ったプレーを見せて、
チームに流れを呼び込んだ

体育大会

BEST8



BEST4

